

日本製粉(株) 第2四半期連結累計期間の業績および通期連結業績予想

< 連結業績の概要 >

(%表示は対前年同期比率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	172,253	102.8	5,308	99.3	6,057	95.0	4,049	100.5
2019年3月期第2四半期	167,586	104.2	5,346	118.8	6,377	116.3	4,031	113.5

< 連結業績のポイント >

- 売上高は、製粉事業、食品事業ともに販売の伸長等により増収
- 営業利益は、積極的な設備投資による減価償却費及び広告費の増加等により減益

< 連結業績の概況 >

日本製粉(株)(社長 近藤雅之)の2020年3月期第2四半期連結累計期間につきましては、天候不順などによる需要変動の影響を受けるとともに、労働力不足による人件費の高騰やTPP11・日欧EPAの発効、日米貿易協定といった貿易自由化の影響も無視できないものがあり、ますます厳しい環境となっております。

こうした状況の下、当社グループは、絶えず変化を続ける事業環境に対して、柔軟かつスピーディに対処するため、コスト削減と販売の強化を軸に、グループを挙げて今後成長が見込まれる分野への積極的な投資などの事業基盤強化に取り組んでいます。千葉工場ふすまバラ出荷設備が竣工したほか、現在進行中の設備投資として、福岡工場でのプレミックス工場新設、ニッポン冷食(株)による伊勢崎工場での冷凍食品工場増設、NIPPN(Thailand)Co.,Ltd.での冷凍食品工場建設などを取り進めており、国内外で積極的な設備投資を推進しています。

本年9月には当社コーポレートブランドロゴとスローガンの改定を実施しました。従来のコーポレートブランド制定から23年が経過し、その間、食をめぐる環境は大きく変化し、それに伴い当社も事業領域を拡大しています。このコーポレートブランドロゴの改定と新しいスローガン「いつも食卓に、ニッポン」と共に、当社グループは、これまで以上に皆さまの食シーンの中でお役に立ち、親しみをもっていただける会社になることを目指してまいります。

さらに、社内の組織体制についても、食品部門の機構改革、海外事業部門体制の強化を図り、事業のさらなる展開に対応できる体制づくりを進めてまいります。

以上により、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,722億5千3百万円(前年同期比102.8%)、営業利益は53億8百万円(同99.3%)、経常利益は60億5千7百万円(同95.0%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は40億4千9百万円(同100.5%)となりました。

< 連結業績予想 >

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期 通 期	350,000	104.4	12,000	106.9	13,500	103.3	9,000	106.4

2020年3月期の連結業績予想につきましては、本年5月10日に公表いたしました予想数値から変更はありません。